

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』 **連載第15回**

私たちは見た！松崎明の横領現場！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より抜粋）

< 週刊現代2006年10月30日発売号 >

かつての腹心たちが徹底反論！

「私は、松崎さんの持つ別荘のいくつかの存在は知っていました。しかし、（東労組の）先輩たちからはずっとこう言われてきたのです。『（松崎は）革マル派と言われ、国家権力からも、他党派からも、命を狙われているから定住できない。そんな生活を強いられるキャップはかわいそうなんだ』と。その先輩たちの言葉をまともに信じ、（松崎が）別荘をいくつも所有していることも、仕方ないとも思っていました。後輩たちにも、そう言ってきました。そして命をかけて松崎さんを守ろうとしてきたのです。しかし、今、そのことが実に馬鹿馬鹿しいことであったということ、そして松崎さんに裏切られていたのだという現実を痛感しています。彼が別荘を持つのは他党派からの『防衛』のためでも何でもなく、ただただ、自らの『欲望』のためだったのです。今から考えれば、松崎さんのカネの使い方は労働者のそれではありませんでした。私の目の前でJR東労組名義のゴールドカードを使っていたこともありました。彼こそ、除名に相当する悪行を重ねていることを自覚し、素直に組合員に謝罪すべきなのです」（元JR東労組副委員長・小林克也氏）

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 私たちは見た！元東労組委員長松崎明の横領現場」と題するこの記事は、同誌の連載を事実無根として東京地裁に提訴した松崎氏の主張に対して、かつての「腹心」たちが決定的な反論を寄せています。

妖怪の本誌提訴に「かつての腹心」たちが徹底反論
私たちは見た！松崎明の横領現場

元JR東労組委員長

西岡研介(ジャーナリスト)

週刊現代